

9月は防災月間

防災への意識を高めましょう

地震、台風、豪雨、大雪……。近年、日本各地で発生する自然災害は、飯山市にとっても決して「対岸の火事」ではありません。災害の発生は私たちの手で止めることはできませんが、日常の備えにより被害を減らすことはできます。

9月は防災月間。もう一度地域や家庭で、万が一の災害時に自分や家族、地域の安全をどう守るか、そのためにどのような備えが必要かを考えてみませんか。

「もし大地震が起こったら…」 市総合防災訓練を実施



△避難誘導訓練。警察官の先導で避難所へ移動する。

9月6日、平成20年度飯山市総合防災訓練が飯山地区の城北グラウンド周辺で

行われ、飯山地区の住民の皆さんをはじめ、11団体、約400名が参加しました。

今回は「午前6時50分に長野県北部に強い地震が発生し飯山市では震度6強を観測した」という想定のもと訓練を実施。火災や家屋の倒壊への対応や、避難勧告による避難所への避難訓練や炊き出し訓練などが行われました。

また飯山市では8月から、緊急地震速報を防災行政無線で自動放送できる態



△救急救助訓練。消防団員や飯山赤十字病院職員により応急手当やトリアージ（治療優先度の判定）などの訓練が行われた。

勢を整えたことから、緊急地震速報の試験放送も行われました。

台風・豪雨の際は特に注意 土砂災害

近頃、全国各地で集中豪雨の被害が発生しています。またこれから台風シーズンを迎え、飯山市でも大雨が降る危険性があります。

市内には急傾斜地も多く、今年に入りいくつかの土砂災害が発生しています。



△今年3月には、雪解け時期の降雨で国道292号富倉トンネル付近の土砂が崩落。

土砂災害の前兆

■がけ崩れ

- ・がけからの水が濁る
- ・地下水や湧き水が止まる
- ・小石が落ちてくる
- ・がけから音がする
- ・異様な臭いがする

■土石流

- ・山鳴りがする
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる
- ・川の水が濁ったり流木が混ざっている

■地滑り

- ・地面にひび割れができる
- ・井戸や沢の水が濁る
- ・がけや斜面から水がふき出す

大切な地域での助け合い 自主防災組織の活動

飯山市では平成16年の中越地震、平成19年の中越沖地震と、いずれも大きな揺れを記録。交通の寸断などはありませんでしたが、更



△自主防災組織を作っている岡山地区桑名川区では9月7日に防災訓練を実施。全体の8割を超える区民が集まり、約300名が参加しました。

に大きな地震が発生すれば、救急車や消防車も機能しないことがあるかもしれません。

そのような状況に地域で助け合い、大切な命を守るため「自主防災組織」の設立が近年進められており、市内では62集落（平成20年9月現在）で自主防災組織が設立されています。

自主防災組織では、防災訓練など自主的な防災活動が行われており、消火器の使い方など身近な訓練から、避難誘導・避難所の設置など災害時を想定した訓練まで、住民の防災意識向上が図られています。

市民の皆さんは、地域の自主防災組織の活動や、市の防災訓練などにできるだけ参加していただき、日常の備えをお願いします。

近年市内で発生した大きな災害



台風23号 (H16.10.21)

台風23号により千曲川が増水。木島地区には「避難準備」が出された。



平成18年7月豪雨 (H18.7)

梅雨前線による集中豪雨で千曲川が増水。観測史上2番目の高水位に。



平成18年豪雪 (H17.12~18.2)

12月から降り続いた大雪で死者・負傷者が発生。自衛隊の災害派遣を受けた。



新潟県中越沖地震 (H19.7.16)

飯山市でも、16年の中越地震を上回る震度5強を観測。

大切な命を守るために……

住宅の耐震化を進めましょう

阪神・淡路大震災で亡くなられた方の9割が、倒壊した住宅や家具の下敷きになったことによる圧死です。その後起きた新潟県中越地震・中越沖地震などでもまた、住宅の倒壊により死傷者が多く出ています。

市内では平成18年度から現在までに、600戸以上の住宅が耐震診断（無料）を受けています。大切な命を守るために住宅の耐震化を進めましょう。

お申し込み・お問い合わせ
市役所都市計画課 住宅・公園景観係
☎62-3111 内線244

地震に強い住宅へのSTEP3ステップ

昭和56年以前に建築の木造の個人住宅が対象

1 簡易診断 無料

2 精密診断 無料

3 耐震補強工事

※補助制度があります



簡易診断は30分程度の簡単な診断。外観のみの調査でもOK！

補強例



施工前
ほぼ全面がサッシ



施工後
筋交い入りの壁を設けて、耐震強度を上げた